

魚病診断結果

田中真二・羽生和弘・中村砂帆子・宮本敦史

目的

県内の養殖魚等の魚病発生状況を把握するとともに、その対策指導を行い、魚病被害の軽減を図る。

方法

平成27年4月～平成28年3月に水産研究所、同尾鷲水産研究室および同鈴鹿水産研究室に診断依頼のあった魚介類について、病気の診断を行った。

結果および考察

総診断件数は302件（海産魚301件、淡水魚1件）であった。魚種、魚病別の診断結果を表1～5に示す。マダイでは、平成21年以降ほとんど流行がみられなかったマダイイリドウイルス病が複数の漁場で発生した。細菌病ではエピテリオシスチス病が多発した一方、エドワジエラ症による被害は例年に比べて小さかった。寄生虫病では心

臓ヘネガヤ症とビバギナ症の診断件数が多かった。シマアジでは、7～10月にビブリオ病とレンサ球菌症が多かった。ハギ類では、ビブリオ病、レンサ球菌症およびミコバクテリア症が多発した。マハタでは、9月と11月にウイルス性神経壊死症がみられたが、被害は小さく、ワクチンの効果が窺われた。

主要病原菌の薬剤感受性試験結果を表6に示す。エドワジエラ症およびレンサ球菌症原因菌の感受性は概ね良好であった。一方、ビブリオ病原菌では薬剤耐性菌が多かった。

以上の魚病診断とは別に、マダイで12件およびマハタで1件の計13件の健康診断依頼があった。アワビのキセノハリオチス症については、親貝37件および種苗7件の計44件について原因菌保有検査を行い、全て陰性であった。ヒラメのクドア症 (*Kudoa septempunctata*) については、4月に放流種苗の検査を1件行い、陰性であった。

表1. マダイの診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マダイイリドウイルス病	0				2	2	3							7
エピテリオシスチス病	0		3	19	1	1		2		1	4	2	33	
ビブリオ病	1	1	3										4	
バスタレラ症	0			1									1	
エドワジエラ症	0				1	1	1		1				4	
トリコニア症	1					1							2	
スクーチ症	2					1							1	
白点病	0		1										1	
心臓ヘネガヤ症	2		1										1	
粘液胞子虫性やせ病	0									1			1	
アマロテイスカス症	1				1								1	
ビバギナ症	0			1			1	3	1	2	3	3	14	
ペネテニア症	1	1											1	
住血吸虫症	1		1										1	
クビナガ鉤頭虫症	2						1						2	
皮膚カリクダ症	0										1		1	
緑肝	1		1										1	
体表潰瘍	1											1	1	
削瘦	2												1	
不明	0						1						1	
計		3	0	12	33	11	11	14	7	2	5	12	122	

表2. ブリの診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ウイルス性腹水症	0		1										1	
ビブリオ病	0			1									1	
レンサ球菌症(β)	1								1				1	
レンサ球菌様細菌感染症	不明							1					1	
細菌性溶血性黄疸	0								1				1	
未同定細菌感染症	0			1									1	
トリコニア症	0										1	1	2	
住血吸虫症	0				2						1	1	4	
ペネテニア症	0										4	1	5	
皮膚カリクダ症	0										1		1	
削瘦	0									1			1	
不明	0										1		1	
計		1	0	2	2	0	1	0	2	1	1	7	20	

表3. シマアジの診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マダイイリドウイルス病	1							1					1	
ビブリオ病	0								1				1	
レンサ球菌症(α I)	1				2	1		1					4	
レンサ球菌症(β)	1								1	1			2	
シュートモリス症	0												1	
カサシ症	1								1				1	
吸虫性旋回病	0					2							2	
ペネテニア症	0							1					1	
削瘦	2								1				1	
皮膚カリクダ症	1								1				1	
削瘦	1									1	1		2	
不明	0			1						1			2	
計		0	0	1	3	6	5	5	1	1	0	0	1	23

表4. ハギ類の診断結果

(魚種) 病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(カワハギ)														
ヒブリア病	0								3	1	1		5	
	1			1	5					1			7	
レン球菌症(α I)	1			1	1								2	
レン球菌症(β)	0						1						1	
レン球菌様細菌感染症	1			1									1	
ミコプラズマ症	0						1	1					2	
	1			2	5								7	
未同定細菌感染症	1			1									1	
粘液胞子虫性やせ病	0						1						1	
	1			1	3					1			5	
住血吸虫症	1			1									1	
クビナガ鉤頭虫症	0						1						1	
	1			1	1								2	
ペニシリン症	0								2				2	
削瘦	0							1					1	
計		0	0	0	1	6	17	0	7	2	6	0	39	
(ウマヅラハギ)														
ヒブリア病	1		1	1	1								3	
	2	1											1	
レン球菌症(α I)	1		1				1						2	
レン球菌症(β)	2	1											1	
レン球菌様細菌感染症	1	2											2	
ミコプラズマ症	1		1	2	1								4	
イチャボト症	1						1						1	
高水温障害	1			1	2								3	
計		0	4	1	1	3	5	0	3	0	0	0	17	

表6. 主要病原菌の薬剤感受性

エドワジエラ症 原因菌 (マダイ)					
薬剤名	菌株数				計
	-	+	++	+++	
塩酸サリチン酸				4	4
ホスホマイシン				4	4
α溶血性レンサ球菌症 原因菌					
薬剤名	菌株数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン				12	12
塩酸サリチン酸				14	14
フロルフェニコール				14	14
チアンフェニコール				14	14
β溶血性レンサ球菌症 原因菌					
薬剤名	菌株数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン		1		4	5
塩酸サリチン酸	1			3	4
フロルフェニコール			1	4	5
リンコマイシン			1	2	3
ビブリオ病 原因菌					
薬剤名	菌株数				計
	-	+	++	+++	
塩酸サリチン酸	15		1	9	25
オキシリン酸	3	5	7	4	19
フロルフェニコール	4		3	12	19
チアンフェニコール	6			16	22
アンピシリン	8				8

表5. その他の魚種の診断結果

(魚種) 病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(マハタ)														
ウイルス性神経壊死症	0										2		2	
	1					1							1	
	2								1				1	
ミコプラズマ症	2						1						1	
ペニシリン症	0						1						1	
	2								1				1	
材ペニシリン症	0						1						1	
	2						1	1	1				3	
高水温障害	2					1							1	
マハタ小計		0	0	0	0	1	2	5	3	1	0	0	12	
(クエ)														
不明	2					1							1	
クエ小計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
(イシダイ)														
ヒブリア病	不明			1									1	
レン球菌症(β)	不明			1									1	
ペニシリン症	不明			1									1	
イシダイ小計		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
(マアジ)														
滑走細菌症	0		1										1	
ヒブリア病	1						1	1					2	
レン球菌症(α I)	0					1	1	1					3	
	1		2		1	1	1	1					5	
レン球菌症(β)	0		1										1	
スカーカ症	0		1										1	
マアジ小計		0	0	5	0	2	3	0	3	0	0	0	13	
(ヒラメ)														
滑走細菌症	0								3				3	
ヒブリア病	0								2	1			3	
エドワジエラ症	0									2			2	
イチャボト症	0									2			2	
スカーカ症	0								1	2	1		4	
ヒラメ小計		0	0	0	0	0	0	0	6	5	2	0	14	
(トラフグ)														
ヒブリア病	0		1										1	
ペテロトリウム症	0				1								1	
環境障害	2												1	
トラフグ小計		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
(クロマグロ)														
マガイロウイルス病	0								3				3	
心臓外了症	2				1								1	
住血吸虫症	0								4				4	
脊椎骨骨折	0					1			1	1			3	
	2				1								1	
クロマグロ小計		0	0	0	2	1	0	7	1	1	0	0	12	
(マイワシ)														
レン球菌症(α I)	0								1				1	
マイワシ小計		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
(カサゴ)														
滑走細菌症	0		1										1	
カサゴ小計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
(マアナゴ)														
滑走細菌症	0		1										1	
輸送障害	0		1										1	
不明	不明	1							1				2	
マアナゴ小計		1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
(メガイアワビ)														
長桿菌感染症	1	1											1	
不明	0		1										1	
	1	1	3							2			6	
	不明					1							1	
メガイアワビ小計		2	0	4	0	1	0	0	0	2	0	0	9	
(クロアワビ)														
未同定細菌感染症	1					1							1	
環境障害	0					1							1	
不明	0								1				1	
クロアワビ小計		0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3	
(イセエビ)														
長桿菌感染症	0								1	1			2	
筋肉微胞子虫症	不明								2				2	
イセエビ小計		0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4	
(アマゴ)														
環境障害	0							1					1	
アマゴ小計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
合計		3	2	14	4	7	7	12	15	10	5	0	81	